

平成29年度大阪府立泉大津高等学校学校協議会（第3回）議事録

日 時：平成30年2月23日（金）14:00～15:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 応接室

出席者：水野委員長、浦西委員、植野委員、校長、教頭、首席

1 校長あいさつ

2 第2回議事録確認

3 協 議

（1）平成29年度学校経営計画の達成状況について

①平成29年度学校教育自己診断結果 報告

- ・生徒、保護者からの高い回収率を維持できている。
- ・生徒会活動（行事）の満足度は特に1年で高い評価を得ている。
- ・教職経験の短い教員への研修は高評価である。
- ・教員は、教職経験の長短により評価が分かれる項目がある。
- ・ホームページなどの広報活動については、評価が低い。

②学校経営計画 達成状況・自己評価 報告

- ・授業アンケートの評価は維持。きめ細やかな授業はできていると考えるが、アクティブラーニングを取り入れることによりさらに評価を高めたい。
- ・ビジネス情報コースで泉大津市と連携した授業を行ったが、そのような取り組みを継続して行うとともに、ニーズに合った資格取得を取り入れるなどの工夫により選択者を増やしたい。
- ・トータルキャリアプランに基づく進路指導に対しては、生徒からの肯定的評価を得ている。さらにブラッシュアップするとともに、個々の生徒のニーズに応じた指導をしていくことが必要。
- ・就職支援コーディネータの配置事業が終了したことにより、就職志望の生徒に対する校内の進路指導体制を検討することが課題。
- ・人権教育について、新たな人権課題も含め、3年間を見通したものにしていかなければならない。
- ・読書指導について、力を入れていくことが必要。
- ・部活動の加入率を高めるため、中学校との連携とともに柔軟な発想での活動を取り入れていくことも必要だと考えている。
- ・遅刻数が増加している。また、登下校時の通学マナーに関するお叱りもたくさんいただいている。学校生活に向かう姿勢の崩れにつながらないように、生活指導全体に

ついて対策を考えなければならない。

- ・アクティブラーニング型の授業を取り入れたり、ICTのさらなる活用について、力を入れていきたい。
- ・会議の運営、資料の共有等、働き方改革という意味も含めて工夫することが必要。
- ・情報発信については、継続して取り組んでいきたい。

(2) 本校校則の見直しについて

- ・現在、検討を進めているところ。

(3) 意見交換

- ・子どもたちの活動を評価する場面をできるだけ作ったり、見えないところで活動していることをみんなの前で披露したりすることが、みんなの活力を高めることにつながるのではないか。泉大津市では社会人を含め泉大津市在住の人に対して教育委員会表彰を行っている。表彰の規定等を確認してみてもどうか。
- ・教職員が意欲的に取り組める校務分掌の分担について、中学校でも数値が下がってきている。生徒の学力向上や活力を高めようとしても、教員が疲弊して不公平感を持っているようではいけない。重要なポイントだと思う。
- ・通学マナーの指導に力を入れてほしい。地域からの評価、学校選択にもつながる。
- ・朝読など、学校としての取組みを考える必要がある。大学入試でも国語の力の差がはっきりと出ている。高校からの発信で中学校と連携しなければ難しい。
- ・部活動については、週2～3日休むとか1日2時間までと決めるなど、働き方改革ともリンクして考えなければならない。内容も含めてトータルに検討すべき。

4 学校運営協議会の設置について

- ・来年度以降、学校運営協議会を設置することになった。
- ・人事や学校経営計画への承認なども運営協議会で行う。
- ・委員の決定は改めて行う。